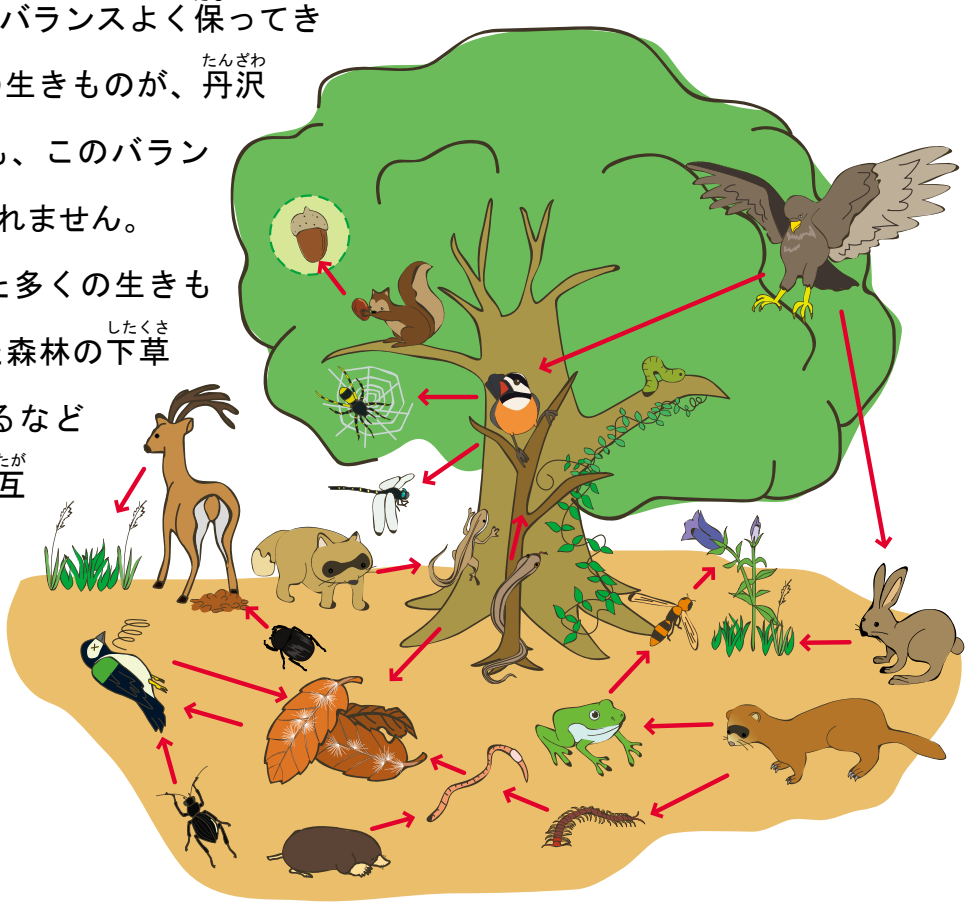
■丹沢の生きものたちのくらしをまもるために■

丹沢山地には多くの生きものがいます。丹沢の自然の中で、長い時間をかけて、生きものたちは、お互いの関係をバランスよく保ってきました。たった１種類の生きものが、丹沢から姿を消しただけでも、このバランスが崩れてしまうかもしれません。

丹沢がはぐくんできた多くの生きものを守るため、失われた森林の下草が再び生えるようにするなどして、生きものたちのお互いの関係をバランスよく保てるようにします。



レッドデータブックとは？

レッドデータブックとは、絶滅のおそれのある生物種をとりあげ、自然保護における優先順位を決定する手助けとなる種の分布や生息状況などの情報をまとめた本で、IUCN（国際自然保護連合）が 1966 年（昭和 41 年）に初めて作成しました。

日本においても、環境省がレッドデータブックを発行しており、各都道府県や学会においても独自のレッドデータブックが作成されています。

神奈川県レッドデータブック

神奈川県では、1995 年（平成 7 年）に「神奈川県レッドデータ生物調査報告書」が作成され、2006 年（平成 18 年）には、４年がかりの改訂作業を経て、最新版の「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」が作成されました。

調べ学習はコレ！

神奈川県レッドデータブック 2006WEB 版　　http://www.e-tanzawa.jp/rdb06/